



未来
現在
過去

将来展望

青色申告会 概況 会組織 女性部・青年部 事業 所在地 最新情報 青色だより 関連サイト

沿革

■ [青色21ネットへ](#) ■ [マスコミ報道へ](#)

「我が会の成長戦略」をテーマに、

第14回青色21ネットワーク研究集会を福山で開催!! (平成22年7月2日、福山)



去る7月2日、福山市内のホテルで、第14回青色21ネットワーク研究集会が開催、主催地の広島県下から7会（広島県連含む）を始め、関東・中部・九州各地の21青色申告会より総勢80名が参集した。

【来賓】

中央大学法科大学院教授 森信茂樹 氏
 広島国税局 課税第一部長 千葉俊徳 氏
 広島国税局 個人課税課長補佐 鎌田建夫 氏
 広島国税局 記帳指導専門官 次田慎一 氏
 広島国税局 監理第四係長 高橋 宏 氏

【参加会】

(九州より)北那覇会、小倉会、西福岡会、宮崎会、熊本東会、広島県連、広島西会、広島南会、尾道会、吉田会、沼隈内海会、福山会、名古屋中村会、中川会、浜松西会、浜松東会、小田原会、湘南会、杉並会、武蔵府中会、西新井会(1県連・20会)

研修Ⅰでは、「我が会の成長戦略」をテーマに、次の発表がなされた。

●熊本東会(深川会長)

組織疲労を感じ、若い世代の役員を選出し、組織の活性化を図った。10年前からIT社会への対応を進めてきた。今後は、一般社団法人化を選択し、社会貢献にも尽力していく。

●湘南会(藤牧専務理事)

会員の年齢構成が逆ピラミッド型で、税金対策や世直し運動の意識も低くなっている。スポーツクラブのように会を利用し、会員に喜んで利用してもらうことを会の方向性とした。IT化は会の使命と考えている。

●西福岡会(平野事務局長)

会財政の建て直しのため、人件費を抑え、記帳代行・決算代行で収入源の確保を図った。会則を改正し、法人100社以上の決算を行って財源を強化している。

以上のような独自の会運営や今後の方向性についての発表に関して、活発が討議が行われた。

研修Ⅱでは、吉田特別顧問より、「青色申告制度の一般化(税制改正提言)」と題して講演があり、青色申告と白色申告の一本化、全事業者の記帳の完全義務化、給与所得者の年末調整の申告制度化、さらに、今後の青色申告会の指導対象者の納税者全体に拡大すべきことなどの提言がなされた。

また、特別記念講演として、中央大学法科大学院・森信茂樹教授より「日本経済と税制改革」をテーマにお話があった。教授は、消費税率引き上げ時に担当課長をされていたが、最近の消費税論議でも意見を求められることが多いという。福祉の充実には財源が必要であり、政府の財政規模とサービス(社会保障)の規模がベストミックスで支え合う社会を構築することが必要なことや、税率の引き上げの目的についての選択肢を国民に明確に示す必要性、また、今後の日本の競争力の向上の為に、他国へ流出した企業所得の取り戻し策、新規開業率の向上策などが重要なこと、さらに、メリハリのある経済と税制のあり方について語られた。



●ご意見・ご質問などお気軽にお寄せください。